

編集後記

◆新研究員

本年度は、上河内千香子（かみごうち ちかこ）准教授、石田信平（いしだ しんぺい）専任講師、宮下紘（みやした ひろし）専任講師を新研究員として迎えることができた。上河内准教授の専門は民法で、ドイツ民法の比較法研究について多数の業績がある。石田講師の専門は労働法で、退職後の競業避止義務について英米およびドイツの研究を進めている。宮下講師の専門は憲法で、アメリカ憲法だけでなく個人情報保護法についても造詣が深い。本研究所がさらに活気づくことが期待される。

(S.H)

◆講演会

2008年10月15日、一橋大学法科大学院教授のジョン・ミドルトン氏を講師として、学内で特別講演会を開催した。「インターネットと名誉毀損」というテーマは、国内外において昨今大きな問題となっていることもあり、学生、一般、教職員から約130名もの参加があった。

2008年11月25日、通算で17回目となる公開講演会が、学内において開催された。今回は、「グローバル化の中のビジネスと法」というメインテーマの下で、ハーミーズ・ファンド・マネジャーズ株式会社主席顧問のマイケル・コナーズ氏と本研究所の天野佳洋所員に、それぞれのご関心に沿ったご報告をしていただいた。学生、教職員から約80名の参加があり、盛況のうちに終えることができた。

(E.O.)

◆学生懸賞論文

本研究所では、毎年度学生懸賞論文を募集しているが、今年度は一本が最高の賞である総長賞が与えられた。大変喜ばしいことである。

(E.O.)